

平成26年度

「高校生による、子どもの読書活動アシスト」

記 録 集

青森県立図書館

「高校生による、子どもの読書活動アシストについて」

子どもと本を繋ぐ、もっと「楽しい! 」と思ってもらえる活動をしていけないだろうかと始めた本事業も、今年で3 年を迎えました。

近年、図書館には、地域社会・団体との連携・協働、地域の様々な活動の中心、中核施設となることが求められています。学校もまた、地域社会の重要な活動の場であり、児童・生徒は、明日の地域社会を担っていく大切な宝物です。

本事業での高校生の活動は、児童室で毎月実施しているテーマ展示のディスプレイ作成ですが、高校生に、社会活動・ボランティア活動の場を提供することに留まらず、地域社会、学校、図書館が協働して、子どもの読書活動を推進していくモデルとなるよう、保育園・小学校他で作品を展示・活用してもらおうよう取り組んできました。

本年度も小学校、市町村立図書館で展示され、それぞれ工夫をこらし、心が込められた作品は、本の世界を彩る魅力にあふれ、子ども達の世界を更に大きく、深く広げてくれてくれました。

地域社会・団体と協働し、地域活性化の一翼を担うことは、生涯学習施設である図書館の重要な役割の一つです。この事業の記録をホームページで公開するとともに、本記録集発行が、市町村立図書館等においても「つながる図書館」「つなげる図書館」を目指す、また学校も、連携・協働に参加いただく切っ掛けとなれば幸いです。

当館では、図書館・学校をはじめとした機関、地域社会が強い「絆」で結ばれ、連携・協働して子どもたちの成長を支える一助となれるよう、図書館活動の一層の推進を図って行きたいと考えています。

～目 次～

| | | |
|------|---------------------------|----|
| 7 月 | テーマ「スポーツ」 | 5 |
| | 青森中央高等学校 | |
| | 青中央 けっぱるべあー愛好会 | 6 |
| 8 月 | テーマ「へいわってなあに? ～せんそうとへいわ～」 | 10 |
| | 五所川原工業高等学校 | |
| | 谷本先生と謎のおにぎり | 11 |
| 9 月 | テーマ「たんでいとどろぼう」 | 14 |
| | 板柳高等学校 | |
| | 探偵団 | 15 |
| 10 月 | テーマ「たまご」 | 18 |
| | 弘前工業高等学校 | |
| | KS×KSwith ゆかいな2 人 | 19 |
| 12 月 | テーマ「クリスマス」 | 22 |
| | 岩木高等学校 | |
| | IWAKIgirls | 23 |
| | 青森若葉養護学校高等部 | |
| | あいぼんと愉快的仲間達 ☆ | 26 |
| 1 月 | テーマ「ひつじ」 | 30 |
| | 田子高等学校 | |
| | YUTA&TOMOYA | 31 |
| | 東奥学園高等学校 | |
| | 東奥学園高校図書委員会 | 35 |
| 2 月 | テーマ「ともだち」 | 38 |
| | 田子高等学校 | |
| | 田子高校2 年生図書委員 | 39 |
| | ディスプレイの貸出について | 43 |

7月

【テーマ】 「スポーツ」

【展示期間】 6月27日～7月23日

【担当校】 青森中央高等学校

【図書館での資料展示】

『りきしのほし』（加藤休ミ/著 イースト・プレス 2013）や『野球場の一日』（いわた慎二郎/作・絵 講談社 2011）、『ぞうの金メダル』（斉藤洋/作 高島那生/絵 偕成社 2004）、『サッカーがだいすき!』（マリベス・ボルツ/さく ローレン・カスティロ/え MON/やく 岩崎書店 2012）、『オリンピックまるわかり事典 大記録から2020年東京開催まで』（PHP研究所/編 PHP研究所 2014）、『ゆめみるダンゴムシ』（阿部夏丸/さく 山口達也/え 佼成出版社 2005）など、読めば読むほど体を動かしたくなっちゃう本を紹介しました。



●青森中央高等学校●

【チーム名】 青中央 けっばるべあー愛好会（8名）

【担当の先生】 成田 摩理子 先生

【希望のきっかけ】 昨年度の先輩たちの取り組みを授業で紹介したところ、今年度も挑戦したいということになりました。

※昨年度も、同じ7月の「おべんとう」で参加してくれました。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

生活科学系列 保育選択の仲間。

“展示について”

作品を作る前に、どんなスポーツがあるか話し合い、自分達が好きなものを選んで取り組みました。

球技が多くなってしまいました。弓道などはちょっと意外な選択でした。みんな楽しくやれたのでよかったです。

私はつな引きを担当して、裏と表をしっかりと合わせるのにとっても苦労しました。こだわった所は男の子と女の子が交互になるようにしたところです。

また、つな引きのつなの部分を画用紙でつくらずに、毛糸で作った所です。

見てほしい所は、表情を豊かに作った、つなをひいている人たちの表情です。制作時間がだいぶあまってよかったです。

特に見てほしいところは、バタフライをしているところががんばったので、見てほしい。

同じく苦労したところも、バタフライの泳いでいるところの感じを出すのが難しかった。色えんぴつで水の動きを出すのをこだわりました。

特に見てほしいところは、動きをつけたところです。

苦労したところは、こまかい作業が多かったので、時間がかかったところです。あみのところを紙でやってみました。

大変だったけど、楽しく作業することができました。制作時間がだいぶあまってよかったです。

私はボウリングのピンとボールを作りました。ピンは全部同じくするのが大変でした。ボールはコンパスでまるくしました。少し立体感をだそうと思って色ぬりを先生に教えてもらってがんばりました。

私はサッカーを作りました。
サッカーボールは、書くのが難しかったです。
ゴールは毛糸を使って網を表現しました。1本1本はったり、交互に毛糸を通したりして、網に見えるように工夫しました。

バスケットを作ってみて、結構大変でした。バスケットのネットを、りんごを包んでいる網にするところを工夫しました。腕や足を曲げて、しっかりとシュートをうっている感じにするのが苦労しました。
今回これを作ってみて、とても楽しかったです。

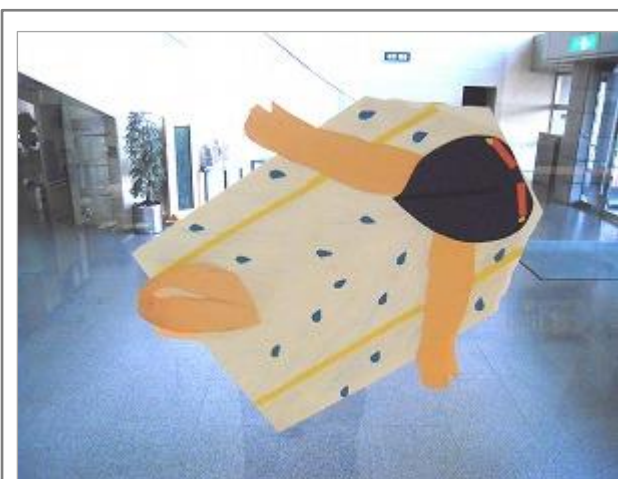
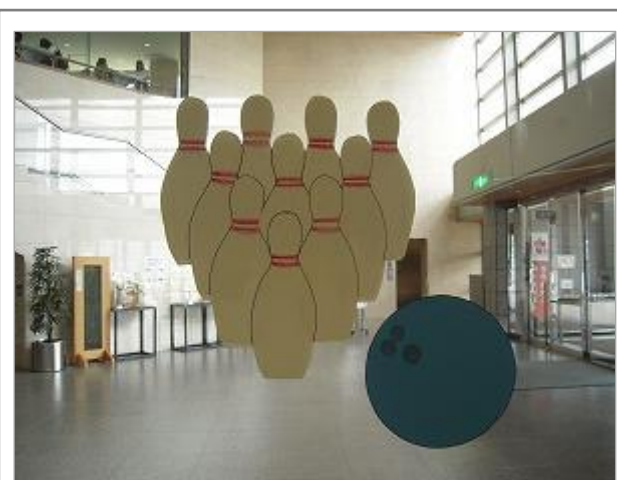
私は弓道を担当しました。その際に、裏表必要だということで、左右対称の同じものを作るというのがとても大変でした。制作時間もギリギリで、もう少し時間が欲しかったところです。他には、顔や、弓道だとわかりやすくするためにと、なるべく参考にした写真と同じようにするというのが苦労しました。

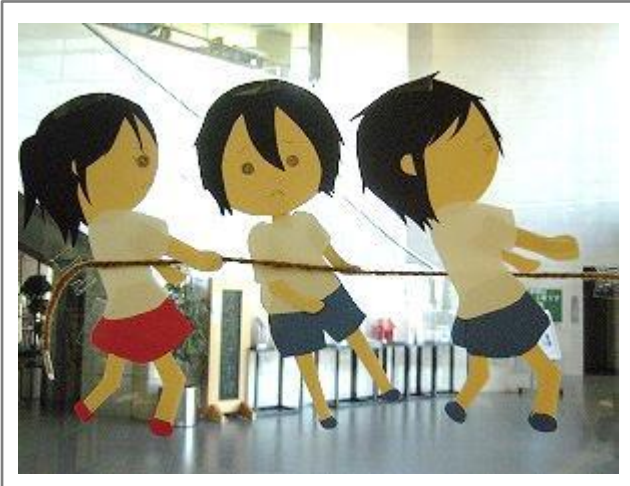
作品を2つ作る予定が、弓道がわりと大きくなってしまい、弓道一つ作ることになりました。弓の部分は、模造紙の棒を切って、茶色の色をぬりました。糸の部分は、毛糸を三つ編みにして作りました。

ポンポンをどうやったら、どんなきじをつかったらいいのか、たくさんつくって比べてがんばりました。
サイズ感がよくわからなくて、とてもつらかったです。
3体をみんな顔やかみをかえて、ちがう人にするのをがんばりました。

●ちょこっとエピソード●

青森中央高校さんは、平成24年度の「ひっこし」、平成25年度の「おべんとう」と、3年間ディスプレイを作ってくれました。どれもとても個性的で楽しいディスプレイでしたが、今回も、生徒さん達一人ひとりの、「スポーツって楽しいよ!」という子ども達へのメッセージが詰まった、素敵なディスプレイでした。意外な材料や工夫も必見です!





8月

【テーマ】 「へいわってなあに? ~せんそうとへいわ~」

【展示期間】 7月25日~8月27日

【担当校】 五所川原工業高等学校

【図書館での資料展示】

『世界中のこどもたちが103』(平和を作ろう! 絵本作家たちのアクション/著 講談社 2004)や『バスの図書館員 イラクで本当にあった話』(ジャネット・ウィンター/絵と文 長田弘/訳 晶文社 2006)、『ぼくがラーメンたべてるとき』(長谷川義史/作絵 教育画劇 2007)、『あいうえおのきちからをあわせたもじたちのはなし』(レオ=レオニ/作 谷川俊太郎/訳 好学社 1979)、『すべての子どもたちのために 子どもの権利条約』(キャロライン・キャッスル/文 池田香代子/訳 ほるぷ出版 2003)など、平和の素晴らしさや、大切さを感じられる本や紙芝居を紹介しました。



●五所川原工業高等学校●

【チーム名】 谷本先生と謎のおにぎり（7名）

【担当の先生】 谷本 佳樹 先生

【希望のきっかけ】 昨年度も申し込んだため、本年度も参加することに決めました。8月を選んだ理由は、やりがいがありそうだからです。

※昨年度は12月の「クリスマス」で参加してくれました。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

美術部全員+顧問の先生で制作しました。

「戦争」という難しいテーマに挑戦してみましたが、思った以上に難しく、構成を考えるのが一番大変でした。

暗いイメージにならないよう、ユーモアがあるかわいいキャラづくりを心がけました。

こだわったところは、キャラの表情と日本列島です。

●ちょこっとエピソード●

難しいテーマに、果敢に挑戦してくれた「谷本先生と謎のおにぎり」さんたち。大変なテーマをお願いしてしまった…とドキドキしながら待っていたディスプレイは、「このテーマを、こんなにかわいらしく伝えることができるんだ！」と、びっくりするくらい素晴らしかった！改めて、高校生の皆さんの感性にじびれました。

児童室側と外側から見る子どもたちの服などの違いも楽しい作品でした。





9月

【テーマ】 「たんていとどろぼう」

【展示期間】 8月29日～9月24日

【担当校】 板柳高等学校

【図書館での資料展示】

『おしりたんてい』（トルル/さく・え ポプラ社 2012）や『どろぼうがっこうだいうんどうかい』（かこさとし/作・絵 偕成社 2013）、『えんそくごいっしょに』（小竹守道子/さく ひだきょうこ/え アリス館 2012）、『としょかんどろぼう』（ときわひろみ/脚本・画 埼玉福社会商品事業部 2009）、『江戸川乱歩の「少年探偵団」大研究 上, 下』（平井憲太郎/監修 平山雄一/編集協力 住田忠久/編集協力 ポプラ社 2014）、『くろて団は名探偵』（ハンス・ユルゲン・プレス/作 大社玲子/訳 岩波書店 2010）など、手に汗握る？ 探偵と泥棒の本を紹介しました。



●板柳高等学校●

【チーム名】 探偵団（19名）

【担当の先生】 佐々木 孝子 先生

【希望のきっかけ】 板高祭にも展示した物をアレンジし、多くの人に見てもらいたいと思いました。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

選択「発達と保育」選択者の仲間

制作コンセプト「子猫探偵」

みんなで協力して作成しました。一人一人がパーツを分担し、19人で協力して作りました。

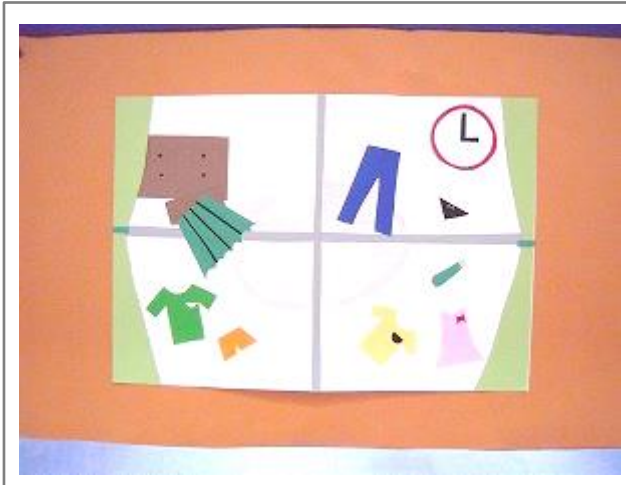
そして、こどもが喜ぶかわいい物ができたなーって思います。

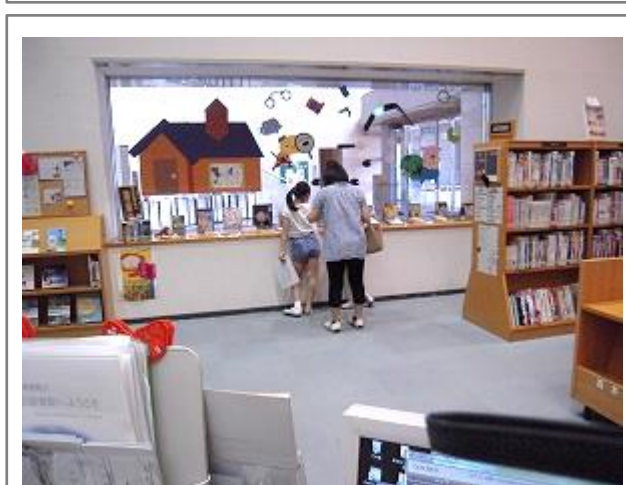
全員で頑張って良い物が作れて楽しかったし、なによりも、良い思い出になれたと思います。

かわいいどろぼうの慌てぶりをご覧ください。

●ちょこっとエピソード●

「探偵団」の皆さんは、総勢19名の大所帯！「子どもが喜ぶかわいいもの」を目指し、絵本をたくさん読んでイメージを膨らませてくれたのだとか。遺留品をこれでもかともまき散らす泥棒と、それを追う子猫探偵（帽子や虫眼鏡で隠れてしまってますが、ちゃんと猫の耳があるんです！）が楽しいディスプレイです。泥棒にはいられた家の窓から見える犯行現場は、児童室側と外側で間違い探しのようになっています。子ども達もどこが違うのか楽しそうに見比べていました。





10月

【テーマ】 「たまご」

【展示期間】 9月26日～10月22日

【担当校】 弘前工業高等学校

【図書館での資料展示】

『きんのたまごのほん』（マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく レナード・ワイ
スガード/え わたなべしげお/やく 童話館出版 2004）や『たまごってふしぎ』
（アリス・プロベンセン、マーティン・プロベンセン/作 こみやゆう/訳 講談社
2012）、『だれのたまご』（斉藤洋/作 高島那生/絵 フレーベル館 2012）、『た
まごのはなし かしくくておしゃれでふしぎな、ちいさないのち』（ダイアナ・アス
トン/文 シルビア・ロング/絵 千葉茂樹/訳 ほるぷ出版 2007）、『ゴリラでた
まご』（内田麟太郎/作 日隈みさき/絵 WAVE 出版 2013）など、不思議いっ
ぱいな卵の世界を紹介しました。



●弘前工業高等学校●

【チーム名】 KS×KS with ゆかいな2人（4名）

【担当の先生】 幸山 朋人 先生，岩渕 金満 先生

【希望のきっかけ】 「たまご」から色々なものが生まれるものを表現したいと思いました。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

図書委員2人とその友達2人の、女子4人です。

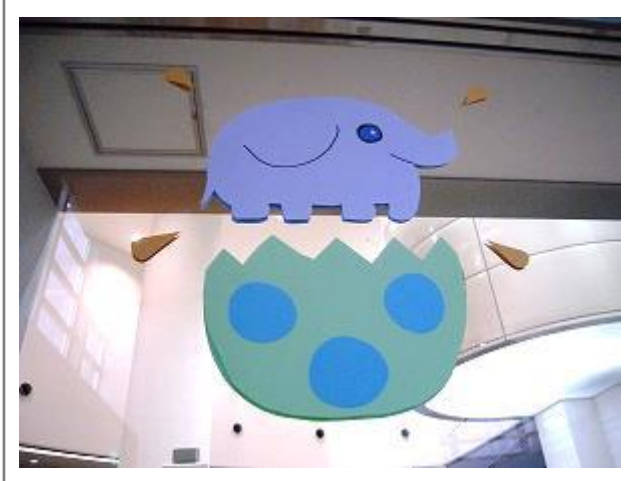
4人で2時間かけて完成させました！

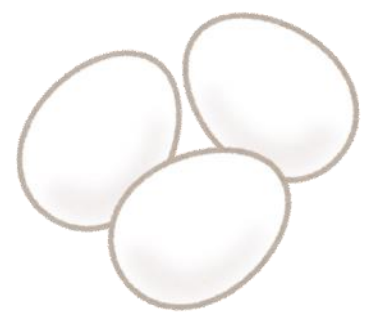
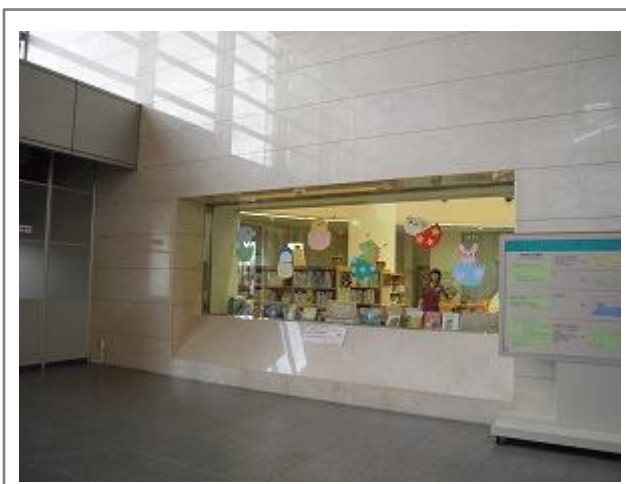
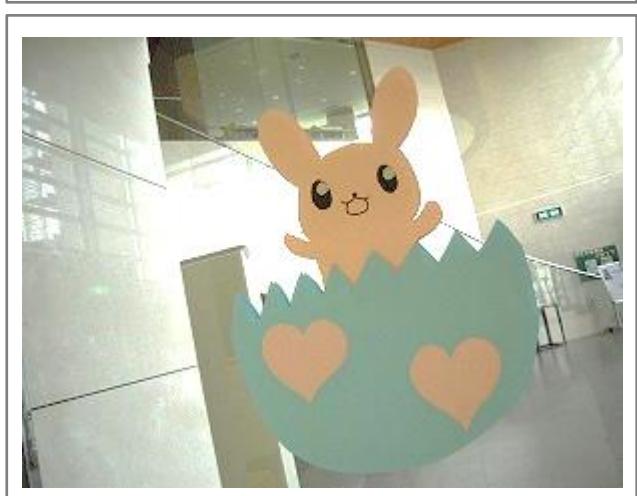
色々な動物が生まれているところを表現しました。

特に、とびはねているゾウや、恐竜の腹部の柄付きの部分を見てほしいと思います。

●ちょこっとエピソード●

弘前工業高校さんは、平成24年度の「クリスマス」、25年度の「おんがく」でもディスプレイを作ってくれた他、昨年2月の「みんなで児童室をきつねでいっぱいにしよう！」というイベントでも、子ども達のために「きつねの嫁入り」の素敵なぬり絵を作ってくれました。毎回、完成度の高いディスプレイを作ってくれますが、今回のディスプレイも、とても楽しい発想！児童室側と外側では、卵のガラも、色も、動物達のポーズまで違うんです！児童室とエントランスを行ったりきたりしたくなるディスプレイでした。





12月

【テーマ】 「クリスマス」

【展示期間】 12月4日～12月24日

【担当校】 岩木高等学校
青森若葉養護学校高等部

【図書館での資料展示】

『100にんのサンタクロース』（谷口智則/作・絵 文溪堂 2013）や『さんびきのこねずみとガラスのほし』（たかおゆうこ/作・絵 徳間書店 2013）、『聖ニコラスがやってくる!』（クレメント・C．ムーア/文 ロバート・イングペン/絵 柳瀬尚紀/訳 西村書店 2011）、『クリスマス』（バーバラ・クーニー/さく 安藤紀子/やく 長崎出版 2007）、『サンタが空から落ちてきた』（コルネーリア・フンケ/著 浅見昇吾/訳 WAVE出版 2007）など、クリスマスを彩る本を紹介しました。



●岩木高等学校●

【チーム名】 IWAKI girls (4名)

【担当の先生】 高橋 和歌子 先生

【希望のきっかけ】 子どもたちの読書活動の推進に協力できればと思い参加させていただきます。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて” 図書委員会

表だけではなく、裏からも見るように作るのが大変でした。トナカイの表情が裏表で違うのでぜひ見てほしいです。こだわったところは、動物が楽しそうに見えるように貼りつけたところと、わたを使って雪を表現したところです。

●ちょこっとエピソード●

高校生の皆さんの作品の展示場所は、児童室とエントランスを隔てる大きな窓。このアシスト事業に参加してくれている高校生の皆さんは、まずこの大きさに挑むことになります。「手間と時間をかけて格闘しました！」という感想をいただきましたが、その苦勞のおかげで、スペースいっぱい楽しいクリスマスの世界が広がりました。飾ってみて初めて分かったのですが、横一直線に走る雪の飾りが、ちょうど展示した絵本にぴったりの高さ！ディスプレイと展示の見事な調和に、スタッフ一同感心しきりでした。





●青森若葉養護学校●

【チーム名】 あいぼんと愉快的な仲間達 ☆★ (7名)

【担当の先生】 大川 満喜子 先生

【希望のきっかけ】 先生から紹介されて、ぜひやってみたいと思いました。子どもたちが楽しく読んでくれるようにがんばりたいと思います。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

あいぼんの呼び掛けにこたえてくれたメンバーで申し込みました。

★苦勞したところ・・・

- ・トナカイとサンタのソリの通りの星を、1コずつはることです。
- ・切り絵（トナカイとサンタとソリ）をしたことです。
- ・雪の結晶を作ることです。

★特に見てほしいところ・・・

- ・ツリーはジンジャーウーマンがかわいくできました。
- ・サンタ、トナカイ、ソリはシルエットに作ったので、見てくれるとうれしいです。

★こだわったところ・・・

- ・たくさんの雪の結晶を飾りました。
- ・絵本から飛び出しているように作りました。
- ・本をてらすためにロウソクの配置を工夫しました。

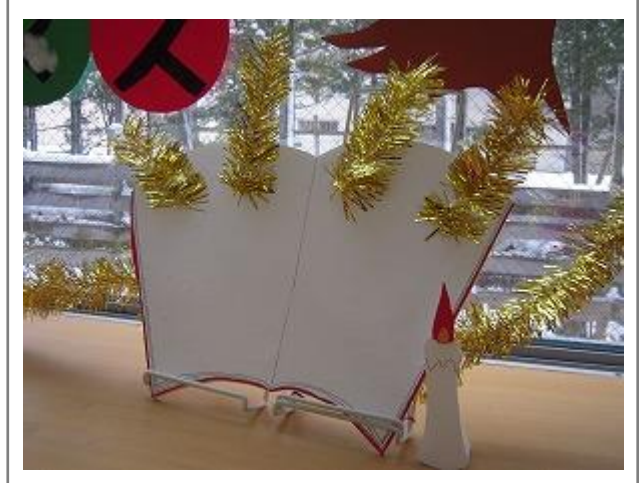
★感想

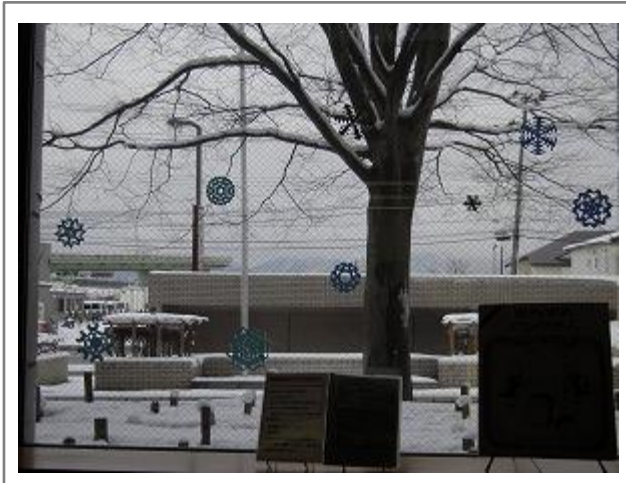
- ・作る前と後では、想像と違って時間がかかり大変でした。

●ちょこっとエピソード●

ロウソクに照らされた絵本の中から、にぎやかなクリスマスの世界が飛び出しました。ちょうど、窓の外の雪景色に映えて、まるでサンタさんが雪深い森をソリで走っているよう！素敵なホワイトクリスマスになりました。

シルエットのサンタとトナカイが通った後には、色とりどりの星と金色のモールが美しくきらめいて、特に夕方からの児童室は、うっとりするくらい幻想的でした。たくさん作ってくれた切り紙の雪の結晶は、「クリスマス」展示終了後も、児童室の窓に飾らせていただきました。







1月

【テーマ】 「ひつじ」

【展示期間】 12月26日～1月21日

【担当校】 田子高等学校

東奥学園高等学校

【図書館での資料展示】

『108ぴきめのひつじ』（いまいあやの/作 文溪堂 2011）や『ペレのあたらしいふく』（エルサ・ベスコフ/さく・え おのでらゆりこ/やく 福音館書店 1976）、『ひつじのロッセ』（アヌ・ストーナー/作 ヘンリケ・ウィルソン/絵 大島かおり/訳 ひさかたチャイルド 2009）、『おとうさんはひつじかい』（白根美代子/作 福音館書店 1991）、『のろのろひつじとせかせかひつじ』（蜂飼耳/作 ミヤハラヨウコ/絵 理論社 2009）など、今年の干支である「ひつじ」の魅力に迫る本や紙芝居を紹介しました。



●田子高等学校●

【チーム名】 YUTA&TOMOYA (2名)

【担当の先生】 佐藤 美智子 先生, 大嶋 晃子 先生

【希望のきっかけ】 今年も干支に挑みます。3年目となった3年生の委員長の頭の中には、もう構想が練られています。是非やらせてください。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

図書委員3年目の二人です。ディスプレイ制作も3年目。

親子のひつじです。大きいひつじはピンクの毛糸で満開の桜をイメージした模様になりました。小さい子ひつじは青いバラのモチーフを1つ1つはりつけていきました。

どちらも新年にふさわしく華やかな雰囲気を出しました。

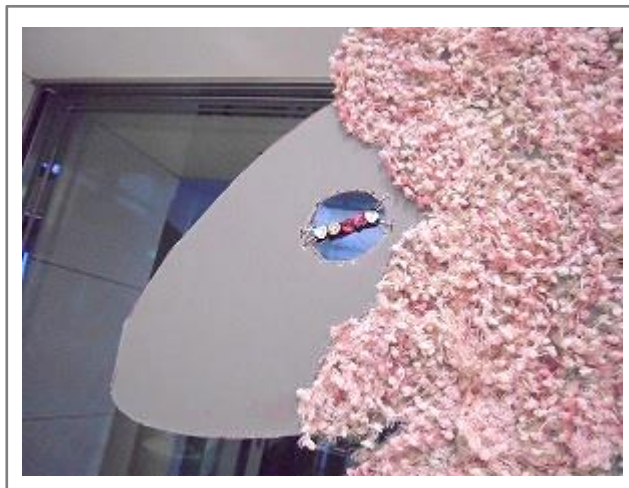
ひつじのもこもこした毛並も伝わってほしいです。

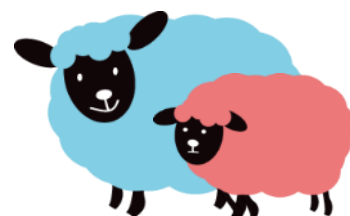
ディスプレイはやはりプラスチックダンボールで、大きく! かわいく! そしてひと工夫! を心がけてきましたが、プラスチックダンボールをカットするのはけっこう大変なのです。特に曲線部分。

そして今回毛糸をうずまき状にしてはりつけていく地味な作業を二人とも黙々とこなしながらもたまるストレスとの闘いでした。

●ちょこっとエピソード●

“YUTA&TOMOYA”さんは、このアシスト事業が始まってから、ずっと参加してくれた男子二人組。最初に参加した時は1年生だった彼らも、今年はいよいよ卒業生…。担当の先生に優しく見守られ、年々頼もしく、男らしくなっていく高校生男子の成長の早さに、感無量になります。「プラスチックダンボールの匠」は、毎回、趣向を凝らしたディスプレイで、スタッフを驚かせ、そして子ども達を楽しませてくれました。今回も、ご覧ください、この華やかさ! 手間隙かけた匠の技を是非生で見ていただきたいです。羊さんたちは、未年の間中、児童室で会うことができます。(ただし、おでかけ中の場合もありますよ!)







●東奥学園高等学校●

【チーム名】 東奥学園高校図書委員会（2名）

【担当の先生】 千葉 真弓 先生

【希望のきっかけ】 学校の図書館での展示、かざりつけを行うことで、この作業のおもしろさを知り、より多くの人目に入る県立図書館で行うことができたらいいと思い、今回希望しました。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

図書委員会の中から、参加したい人が集まったチームです。また、有志（1人）も加わりました。

* 特に見て欲しいところ

・ 小さな窓に、小さなひつじもいますので、見落とさないように

* 苦労したところ

・ 大きな部分、小さな部分、それぞれをはり合わせていくのが大変でした。

大きさと言ひ、バランスと言ひ、まだまだうまくできてはいませんが、「ひつじ」の良さは伝えられると思います。

●ちょこっとエピソード●

羊といえば、やっぱりもこもこ！誰もが思うイメージが、そのままディスプレイになったような作品です。この厚み、このふわふわ感…。写真ではなかなか伝わりにくいのですが、思わず触りたくなる魅惑の羊です。この展示が始まった頃、雪がたくさん降ったので、羊さん達が楽しく雪原で遊んでいるようでした。ディスプレイは現在、児童室と一般室を結ぶ通路に飾られていますが、通りすがりについ触ってしまう人続出中です。是非、このもふもふ羊さんに会いに来てくださいね（おでかけ中で会えないこともあります）。





2月

【テーマ】 「ともだち」

【展示期間】 1月23日～2月25日

【担当校】 田子高等学校

【図書館での資料展示】

『かぼちゃスープ』（ヘレン・クーパー/さく せなあいこ/やく アスラン書房 2002）や『あたらしいともだち』（トミー・ウンゲラー/作 若松宣子/訳 あすなろ書房 2008）、『だくちるだくちる はじめてのうた』（V. ベレストフ/原案 阪田寛夫/文 長新太/絵 福音館書店 1993）、『心のたんけん3 友だちってなんだろう』（斎藤次郎/著 田中伸介/イラスト 学習研究社 2006）、『おともださにナリマ小』（たかどのほうこ/作 にしむらあつこ/絵 フレーベル館 2005）など、「ともだち」に関する本や紙芝居を紹介しました。



●田子高等学校●

【チーム名】 田子高校2年生図書委員（4名）

【担当の先生】 佐藤 美智子 先生，大嶋 晃子 先生

【希望のきっかけ】 田子高校図書委員の大切な活動となっている、ディスプレイの製作ですが、責任をもって頑張ってきた3年生から、後輩が引き継ぐときが来ました。1月の「ひつじ」製作で先輩から学んだことを生かして、2月の製作をやってみたいと思います。よろしくお願いします。

【担当してくれた皆さんから】

“チームについて”

新人図書委員2年生のメンバーです。

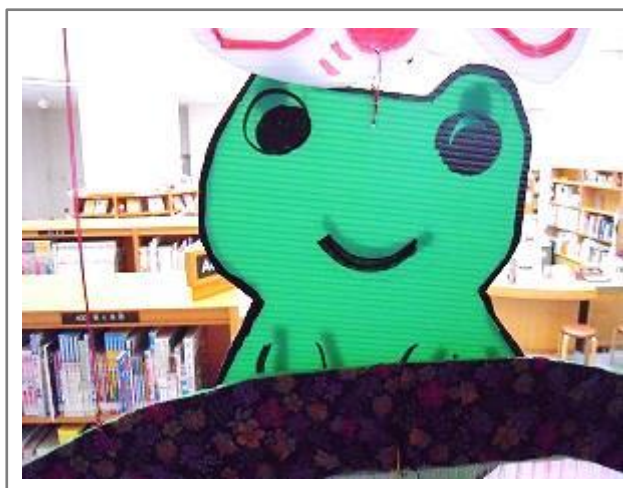
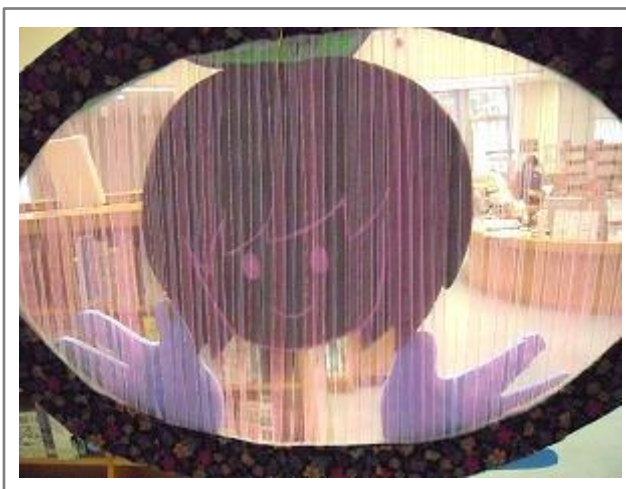
まるい窓の向こうから、誰かが「遊ぼう!」と言ってこちらを見えています。（エントランス側）中に入って見ると、女の子が手を振っていました。（児童室側）女の子の頭の上には、春の仲間たちがのっています。

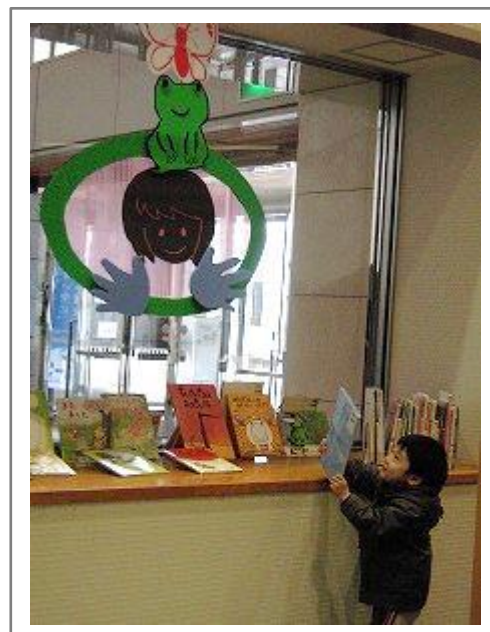
窓枠、カエル、チョウの形にカットするのはやはり大変だったようです。リボンをまっすぐにはっていく作業は、協力してがんばりました。

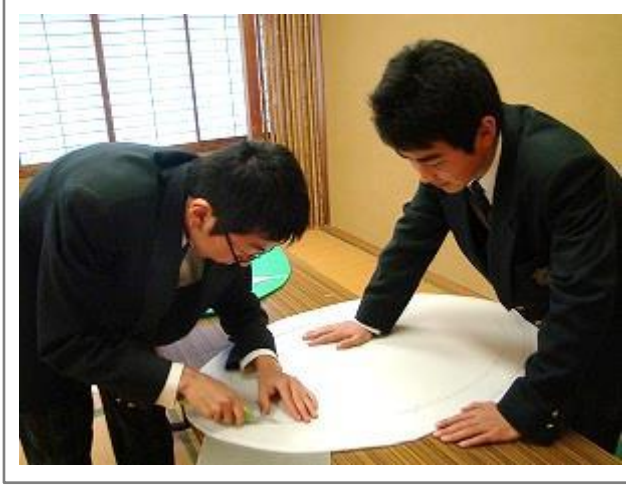
ある男子生徒の描いたチョウを見てください。何度も消して描きました。

●ちょこっとエピソード●

各高校さんのディスプレイは、事前に消耗品を選んでもらい、現物をお届けして作ってもらっています。田子高校さんは、毎回プラスチック段ボールをメインに、様々な材料をプラスして素敵なディスプレイを作ってくれるのですが、今回のプラス材料は「リボン」というご指定。いったいリボンをどう使うのだろう…とスタッフ間でも話題になっていました。届いたディスプレイは、「やられた!」「あの材料がこうなるのか!」と思わず唸る、想像もしていなかったものでした。あの先輩（前月参照）にしてこの後輩あり。学校図書館の活動は、こうして引き継がれていくのだなあ、とちょっと感動しました。







高校生による、子どもの読書活動アシスト

～ ディスプレイの貸出について ～

県内各地の高校生の皆さんが、子ども達のために作ってくれた、たくさんの素敵な作品たち。県立図書館だけではなく、県内の様々な場所で、もっと子ども達に楽しんでもらえないだろうか…？ 図書室、保育園、公民館など、子ども達のための活動にもっともっと活用してもらいたい、そんな思いで、平成25年度より、これまでに展示したディスプレイの貸出が始まりました。

今年度は、泉川小学校に青森中央高校の「ひっこし」（4月）、青森北高校の「おおかみ」（9月）、青森東高校の「まほう&まじょ」（10月）が飾られた他、田子町立図書館に田子高校の「うま」と「きつね」が飾られました。

図書館や学校図書館のディスプレイの他、バザーでの飾りなどにも活用していただきました。

●青森市立泉川小学校●

【飾られた作品】

青森中央高校「青森中央Girls & Boy」さんの「ひっこし」

青森北高校「チーム青北」さんの「おおかみ」

青森東高校「釉唄」さんの「まほう&まじょ」



●田子町立図書館●

【飾られた作品】 田子高校「2年生図書委員+Friends」さんの作品

田子高校「YUTA&TOMOYA」さんの作品



●ちょこっとエピソード●

高校生の皆さんが作ってくれる作品は、どれも創意工夫に富んでいて、「子ども達を楽しませるぞ!」という気持ちがあふれています。そんな作品を、誰よりも先にみることが出来るのは、スタッフの特権。届いた作品の梱包を解く時は、いつもわくわくさせていただいています。

この素敵な作品を、県立図書館だけで独占してしまっては勿体無い!もっとたくさん子ども達に、そして皆さんに見て欲しいと願っています。ディスプレイの貸出は、随時募集中です。写真だけでは伝わらない、実物の魅力に触れて欲しいのです。是非、ご活用ください!

『平成26年度「高校生による、子どもの読書活動アシスト」記録集』

2015年3月25日 発行

青森県立図書館 参考・郷土室 編

発行者 青森県立図書館 参考・郷土室

発行所 青森県立図書館

〒030-0184 青森市荒川字藤戸 119-7 電話 017-729-4311